

政府 / 自治体の ハイブリッドワーク

よりつながりのある社会の実現のために、
社内外のコラボレーションを支援



「オフィス勤務」と「テレワーク」が混在するハイブリッドワークですが、別々のシステムを導入する必要はありません。

行政の根幹にあるのは、各種のサービスを通じて住民のニーズを満たし、安心でつながりのある社会基盤を作ることです。これまでの行政サービスは対面を基本とした、物理的なものでした。しかし今や世界は進化しています。地方自治体がハイブリッドワークに適応しなければ、職員や有権者に疎外感を与え、離職や有権者離れといった最悪のリスクすら負うこととなります。

Cisco Meraki では、職員が働く場所を問わず、市民に役立つ行政サービスを単一のプラットフォームを通じて提供できると信じています。

クラウドベースで構築

職員がどこでも働ける時代なら、どこでも使えるネットワークも実現可能でしょうか？

答えは「イエス」です。その答えがクラウドです。



ハイブリッドワークフォース

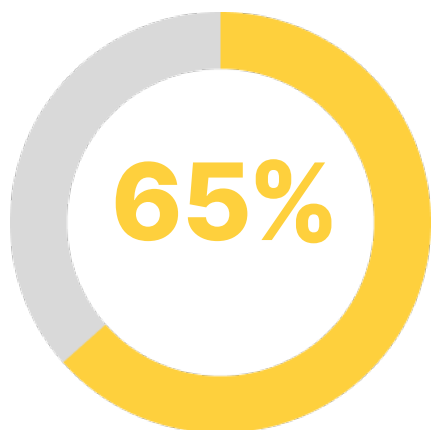
場所を問わず提供される 行政サービス

住民サービスに必要なツールやサービスを、デバイスや場所が変わっても職員が直感的かつ同じように、シームレスに利用できれば、**真のコネクテッド社会**を実現することができます。

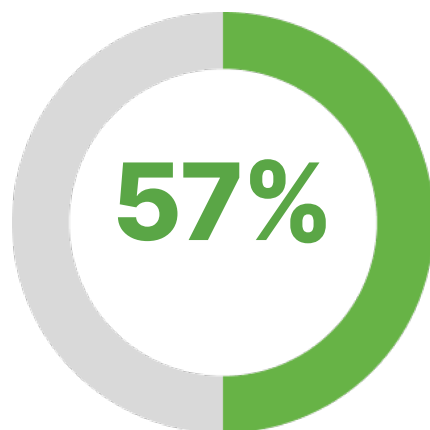
これらのソリューションの管理が IT チームにとって負担となるべきではありません。Meraki のプラットフォームは、行政機関と職員の双方にとって最適なハイブリッドワークを実現するためのものです。



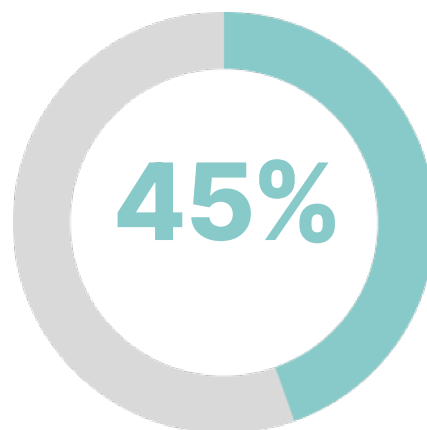
数字で紐解く現状



セキュリティやコンプライアンスを確保しながら、いつでもどこでも働ける環境を整えることが非常に困難だと答えた割合



場所が変わっても一貫したシームレスなサポートを職員に提供することが非常に困難だと答えた割合



ハイブリッド環境の計画や導入で直面する最大の課題がネットワーク接続だと答えた割合



ハイブリッドワーカーをサポートするための最も重要な分野は、コラボレーションの実現、生産性の向上、セキュリティギャップの解消です。

Meraki のソリューションならば、職員の生産性を高められる理由：



隙のないセキュリティ

LAN、WAN、クラウドアプリケーションにまたがって展開。エンフォースメントとモニタリングを、高いパフォーマンスで実現します。



リアルタイムのクラウドモニタリング

ネットワーク、オンプレミス、クラウド管理型デバイスに対して、包括的な可視性と透明性を提供。



個人デバイスを活用

専用の直感的なダッシュボードから、何千台ものデバイスを簡単にプロビジョニング、モニタリング、保護可能。



高度な分析

行政に不可欠なアプリケーションとネットワークリンクについて、実用的な分析情報を提供。



次世代を担うセキュアな Wi-Fi 6E

最新の Wi-Fi 規格と後方互換性を活用することで、市民とのオンラインタッチポイントを迅速かつ容易に展開。



パートナーとのエコシステム

オープン API の採用により、垂直方向と水平方向のユースケースに対応したアプリケーションの開発を促進。

ハイブリッドワークフォース

IT 幹部も無縁ではない ハイブリッドワーク

職員がどこからでも行政サービスを提供できる環境を整えて、柔軟な働き方を重視する人材を採用できたとしても、彼らをサポートする IT チームはどうでしょうか？



IT チームは柔軟に働けないというのであれば、ハイブリッドワークを長く維持することは不可能です。クラウドファーストのプラットフォームを導入すれば、どこでも誰でも働きやすいワークプレイスを実現できます。



ユニファイドアクセス

有線 / 無線ユーザーを可視化し、一貫したポリシーを適用。



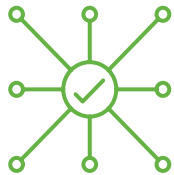
SD-WAN とセキュリティ

LAN と WAN、そしてクラウド上で重要なトラフィックを優先し、常に保護。



セルラー WAN

MPLS、ブロードバンド、セルラー経由でトラフィックをルーティングするポリシーにより、レジリエンス、俊敏性、パフォーマンスを確保。



ネットワークの可視化

エンドユーザー体験を改善し、ネットワーク問題の切り分けにかかる時間を短縮。



クラウドファーストの管理

数千台のデバイスを管理することで、勤務場所を問わず、ハイブリッドワークフォースを容易にモニタリング可能。



完全な透明性

直感的な Meraki ダッシュボードから、物理的資産およびデジタル資産の全体を把握可能。価格設定も、それに見合った透明性の高さが特徴です。

Meraki の直感的なプラットフォームは、ハイブリッドワーカーの進化するニーズを満たして順応できるように行政機関をサポートします。

次の 3 種類のワークプレイスについて、Meraki のソリューションにより生産性を強化できる理由を解説します。



目標と課題

目標

- タッチポイント間で、シームレスかつ安全なコネクティビティを提供する
- オンプレミスやネットワーク上のデバイスを単一のダッシュボードで管理可能にする
- 侵入者やサイバー脅威に即座に対応できるようにする
- ワークフローを最適化し、生産性を最大化する
- ハイブリッドワーカーが利用できるデスクと部屋を増やす

課題

- テレワークやオフィスで働く従業員にポリシーを適用し、サイバーセキュリティで保護する
- ネットワークの制約を克服する
- オンプレミスとネットワーク上のデバイスの管理方法を模索する
- ハイブリッドワーカーをサポートする際に、より複雑になる事態を回避する
- アプリケーションと職員をオフィスに呼び戻す
- デスクや会議室の空き状況について把握する

成果

- システムマネージャによる自動プロビジョニングとポリシー適用で、規模を問わずデバイスとデータを一括で保護。
- Meraki ダッシュボードでオンプレミスとクラウド上のデバイスを管理して、ネットワークとアプリケーションのパフォーマンスを完全に可視化。
- MV カメラと MT センサーを活用して、スマートなワークスペースが実現。
- オフィス内では MR アクセスポイント、自宅では Z3 ゲートウェイにより、生産性と接続性が向上。
- MT センサーと Meraki ダッシュボードで空気の質をモニタリングして、勤務環境を改善。



MR アクセスポイント



MX クラウド管理型
セキュリティ



MV カメラ



MS

マーケットプレイス
パートナー

servicenow

オフィス勤務やリモート勤務の従業員に対して、合理化・自動化されたトラブルシューティングを提供。1対1のミーティングから大規模な会議まで柔軟に対応するツールで、コラボレーションを向上させます。

PlaceOS

ワークフローの自動化、デスクや会議室の予約、ワークプレイスのパフォーマンス向上を実現。ワークスペースの利用状況について、長期的な分析情報を提供します。

行政サービスをテレワークで提供する

目標

- 生産性とインタラクションを向上させる。
- テレワークかオフィス勤務かを問わず、職員がネットワークやリソースに一貫してアクセスできる環境を整える。
- 皆が満足できる、シームレスでスケーラブルな環境を提供する。

課題

- 複数の場所やデバイスをすべて接続して管理する。
- ポリシーの適用とデバイスのプロビジョニングの際に、労力のかかる手動プロセスを排除する。
- オフィス内での新入研修について、代替・補完手段を模索する。
- 物理的セキュリティとネットワークセキュリティの一元管理に伴う複雑化を克服する。
- サポートシステムを IT チーム向けにオーダーメイドすることなく、ビジネスニーズに基づいてカスタマイズされたセキュリティを導入する。

成果

- システムマネージャでプロビジョニングを自動化することで、新入研修の期間が短縮。
- Meraki Health によるネットワーク分析で、職員がヘルプデスクチケットを作成する前に問題を解決。
- Meraki Insight により、ネットワークパフォーマンスを完全に可視化。
- テレワーク・在宅勤務向けの Z3 テレワーカーゲートウェイにより接続を最適化し、次世代 Wi-Fi の最新機能を提供。



システムマネージャ



MERAKI INSIGHT



テレワーカーゲートウェイ

行政サービスを出張先でも提供する

目標

- シームレスなコミュニケーションとデータへのアクセスにより、リモートでも職員が有権者をサポートできる環境を整える。
- エンドツーエンドのセキュリティを確保する。
- クラウドネットワークとオンプレミスネットワークを統括する。
- ハイブリッド勤務における職員のサポート体制を強化する。
- 職員と市民が満足できる、シームレスな体験を提供する。

課題

- ポリシーとデバイスプロビジョニングプロセスを手動で適用、実施する。
- 遠隔地の新入研修に多大な時間を要する。
- 中心的なビジネスアプリケーションのトラフィック量が多いため、パフォーマンスが低下する。
- クラウドとオンプレミスのネットワークをシンプルに管理できる方法を導入する。
- 接続が安定せず、テレワークの全体的な生産性が低下する。

成果

- Systems Manager により、リモート VPN プロファイルを配信してテレワーカーを保護。
- 職員や IT スタッフの勤務場所を問わず、クラウドやオンプレミスのネットワークとアプリケーションを管理できる体制を Meraki ダッシュボードで構築。
- システムマネージャでプロビジョニングを自動化することで、新入研修の期間が短縮。
- ネットワークパフォーマンスや起こり得る問題を、Meraki Insight で包括的に可視化。
- Z3 テレワーカーゲートウェイは、信頼性とセキュリティ、最適化された接続性といった Wi-Fi 6E の利点を、あらゆる場所にいるテレワーカーに提供。



MERAKI INSIGHT



システムマネージャ



テレワーカーゲートウェイ

マーケットプレイス
パートナー

PagerDuty

Meraki からのアラートを統合し、カスタマイズすることで、主要なチームに即座に通知可能。



すべてのユーザー、デバイス、アプリケーションに対して、統合されたゼロトラストセキュリティを適用。

まとめ

コネクテッド社会を構築するには、行政機関もハイブリッドになる必要があります。職員がどこで働いていても、市民がどこにいても、ニーズに応じたサービスを提供可能にするためです。柔軟な働き方により人材を引き付けて、維持できるようにする狙いもあります。こうした近代化に欠かせないのが、オフィス勤務でもテレワークでもアクセスできるネットワークを構築することです。

IT、物理セキュリティ、IoT を融合したプラットフォームを導入することで、複雑さを乗り越えて移行を容易にし、ハイブリッドな環境を実現しましょう。





いつでも、どこでも、どんなデバイスでも。
Meraki は行政機関をサポートします。

詳しくは Meraki.com/HybridWorkforce をご覧ください。